

診断学演習

責任者・コーディネーター	内科学講座血液・腫瘍内科分野 石田 陽治 教授		
担当講座・学科(分野)	医学部臨床系講座		
担当教員	医学部臨床系講座教員		
対象学年	4	区分・時間数	講義 162 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

患者の訴えからその病気の診断までの思考過程を確立する。つまり、患者基本情報、患者観察、医療面談、身体診察、検査の選択と結果の解釈、治療閾値、診断のスパイラルを検証する。

・一般目標（GIO）

症候学・診断学を通して、患者におきている病態生理、おきようとしている病態の把握を行い、診断にまで到達することができる。さらには、治療の選択を、患者のいろいろな情報を基礎に選択でき、選択した時に治療効果を評価することができる。

・到達目標（SBO）

1. 患者の基本情報を基に疾患の類推をすることができる。
2. 患者の観察情報を通して、可能性のある疾患をさらに絞ることができる。
3. 医療面接情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
4. 理学的所見情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
5. 検査情報を通して、考えられる疾患の鑑別診断が可能となる。
6. 患者の複雑な背景の中で、どのような治療を選択すべきかを考えることができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容	備考
10/20 ～ 11/26		1 ～ 4	医学部臨床系講座	医学部臨床系講座教員	各講座による	

・ 成績評価方法

試験による。
